

2018年7月クルディスタン報告書

Reporta Kurdistanê Tirmahê 2018'ê



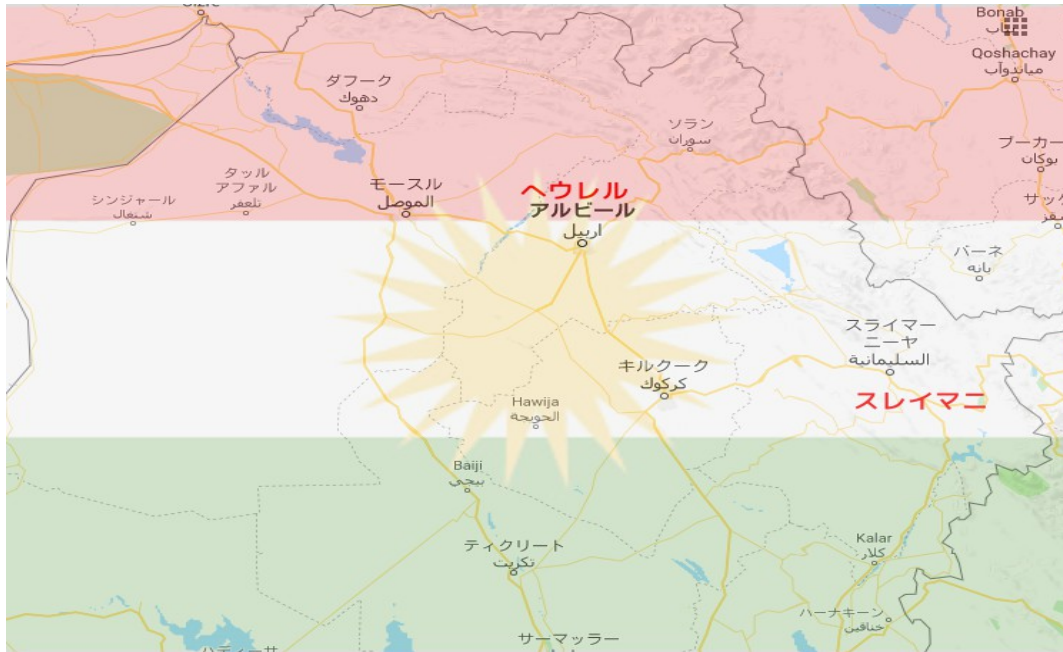
出典: パリ・クルド研究所



日本クルド友好協会

南クルディスタン(イラク北部クルディスタン地域)

Başurê Kurdistanê



票の数えなおし

イラクでは、総選挙以来結果を受け入れられない勢力が、電子集計システムの不備に乗じて人の手作業による再集計を訴えていた。イラク最高裁は、[手作業による票の再集計という議会の決定を追認した](#)[1日、バスニュース]。これによりクルディスタン地域において疑惑のある投票所で投じられた票についても再集計が行われることになった。「変化運動」始めクルディスタン地域の少数野党4党が、[スレイマニからの票の再集計に対しボイコットを表明した](#)[8日、ルダウ]。疑惑ある投票所に投じられた票だけでなく、全ての票が再集計されない限り容認できないとした。これら4党は[ヘウレルからの票の再集計にもボイコットを表明した](#)[12日、ルダウ]。選管は、[キルクークでの再集計の結果は当初の集計結果と93%合致したと発表した](#)[7日、クルディスタン24]。多少票数の変動はあったもののクルディスタン愛国者連盟(PUK¹)の議席は保証されることになった。クルディスタン民主党(KDP²)、PUKとも[新政府樹立のための多党会議に参加した](#)[18日、ルダウ]。

1 クルディスタン愛国者連盟の英語名 Patriotic Union of Kurdistan の略称。クルド語では、Yekîtiya(統一) Nîşmanîya(民族主義者) Kurdistan(クルディスタン)を略して YNK が使われる。

2 クルディスタン民主党の英語名 Kurdistan Democratic Party の略。クルド語では、Partîya(党) Demokrata(民主) Kurdistanê(クルディスタン)の略称 PDK が使われる。

IS の脅威

1日、ペシュメルガ報道官は、アメリカ軍との共同作戦で [IS の補給担当者の一人を殺害](#)したと発表した[1日、ルダウ]。場所はモスル攻略の際ペシュメルガの本営が置かれたマハムールの山地である。

23日、エルビルの政府庁舎に銃を持った男たちが押し入り人質を取って立てこもるという事件が発生した。同日中に治安部隊によって [テロリストは全て射殺](#)され事件は終わった[23日、ロイター]。治安当局は、[事件の首謀者を IS の関係者と発表](#)した[23日、ロイター]。IS の残存勢力がマハムールのような地方ではなく、クルディスタン地域の中核でこのような襲撃を行ったことに衝撃が広がった。

キルクーク情勢

1日、イラク総選挙における [キルクークからの票が保管された倉庫が自爆テロ攻撃](#)にあった[1日、ルダウ]。PUKに所属するイラク国民議会議員は、[トルコがキルクークで500人から成る武装集団を結成したと述べた](#)[11日、ユーフラテスニュース]。キルクークには既にイラク・テュルクメン戦線というエルドアに忠誠を誓う政治集団がいる。トルコは伝統的にモスルをイギリスの帝国主義的陰謀によってトルコ領から切り離され英委任統治下のイラクに編入されたと見做している。

KDP 寄りのメディアは、[キルクーク西部で進むアラブ化に関するある政府関係者の発言](#)を伝えた[15日、バスニュース]。現在キルクークを占領している人民動員軍は、家族を故郷からクルド人村落に移住させているとのことである。事実であるとすれば人口分布を操作する上層部の意図が透けて見える。キルクークに住むアラブ人はシーアが多数である。それはサダム・フセイン時代にクルド人と同じく反政府志向があるシーア住民を移住させた結果である。

トルコの侵略行為

トルコは、自国の反体制派勢カクルディスタン労働者党(PKK³)掃討を名目に、イラク領内で国際法違反の作戦を続けている。トルコ軍は、[空爆で PKK の戦闘員 8 人を殺害](#)したと発表した[1日、「自由」紙]。PKK と敵対するクルディスタン地域政府(KRG)は、トルコの対 PKK 作戦を黙認する。KRG 首相ネチルワン・バルザニは、[PKK によるクルディスタン地域の「占領」がトルコの攻撃を引き起こしている](#)と非難した[4日、ルダウ]。これに対し PKK は同じクルド人だから越境し KRG 領内に基地を構えても問題なく、正当な理由なく国境侵犯を繰り返すトルコこそ占領者であるとの批判が噴出した。クルディスタン地域最高裁は、[9月の地域議会選挙において PKK とつながりのある「クルディスタン自由運動」からの立候補を禁止](#)した[3日、ルダウ]。

³ クルディスタン労働者党のクルド語、Partîya(党) Karkerên(労働者たちの) Kurdistanê(クルディスタンの)の略。日本のメディアで散見される「クルド労働者党」の呼称は誤り。

ロジャバ(西クルディスタン、北シリア)

Rojava Kurdistana



ロジャバ革命 6 周年

革命記念日

7月19日は、北シリアの民主化運動「ロジャバ革命」が開始された記念日として記憶されている。各地で革命記念日を祝う催しがなされた。トルコに占領されたアフリンに隣接するシャフバでは、[若者による革命支持の行進](#)が行われた[19日、ユーフラテスニュース]。

シェイフ・マクスードに新たな自治体が設置

シェイフ・マクスードは、アレッポ市にあるクルド人居住区であり、クルド人主体の自衛部隊「人民防衛隊(YPG⁴)」の支隊が防衛している。度々反体制派の攻撃にさらされ、手製の毒ガス弾も使用されたとクルド人は主張している。アサド政権がアレッポ市全域からファタハ軍、ヌスラ戦線のテロリストを追い出した後も、クルド人による自治が行われてきた。28日、同地区で住民集会が行われ[新自治体の設立宣言と代表選挙](#)が行われた[28日、ユーフラテスニュース]。避難民が多く帰還してきたことによる人口増加が、行政区画再編の必要に迫られたとのことである。この度正式な北シリアの一部に組み入れられたことになる。

4 人民防衛隊のクルド語、Yekîneyên(部隊) Parastina(防衛) Gel(人民)の略。

ジャジーラの嵐

シリア東部デリゾールの IS 掃討作戦「ジャジーラの嵐」作戦室報道官リルワ・アブドゥッラーは、作戦開始以来 3000km² を解放したと発表した[25 日、ユーフラテスニュース]。シリア民主軍(SDF⁵)は、デリゾール国境地帯において燃料密輸業者と交戦した[1 日、シリア人権監視団]。テロリスト、犯罪者の往来を根絶は、イラク政府も強く希望するところである。「シェンガル文書」で明らかになったように、多くのイスラム過激派や密輸業者がトルコから北シリアを通してイラクに自由に出入りしていた。イラク戦争後、次の目標として名指しされていたシリアのアサド政権が、アメリカ軍をイラクに釘付けにするためテロリストのイラク流入を助け、意図的に国境警備を緩めたという説もある。テロリストや禁制品の流出入がスニ地域不安定化につながった。

IS 防衛部隊がデリゾールで総崩れになる一方単発のテロ攻撃を行う能力は残している。アッシリア人の治安部隊「ソトル」の司令部が自爆攻撃にあった[1 日、シャームの真珠]。

マンビジュ

1 日、トルコ軍は 7 回目の警備活動が終了したと発表した[1 日、アナトリア通信]。マンビジュへの示威行動を続けるトルコと傘下の傭兵勢力に対し、マンビジュ市民は不安を感じながらも抵抗の意志を見せている。トルコに対するデモを行っていた群衆の近くで 2 つの爆発があり死傷者が発生した[5 日、ユーフラテスニュース]。

16 日、トルコ外務省は マンビジュから YPG が撤退したという情報を「誇張」だと否定した[16 日、ロイター]。クルド側は YPG の本隊だけを撤退させ、実質そのマンビジュ駐留部隊であるマンビジュ軍事委員会を現地に残し、形式的にアメリカ―トルコの合意を履行したように見せかけた。アメリカ中央軍司令部は、トルコと共同で国境警備隊の訓練にあたる準備があると発表した[19 日、「朝」紙]。トルコのクルディスタン地域でシリア国境に近いガジャンテプである。28 日、トルコ軍参謀本部は、21 回目のアメリカ軍との共同警備活動が終了したと発表した[28 日、アナトリア通信]。共同警備は、アメリカ、トルコ両国の間に信頼関係に基づく合意が無い現状、お互いの領域を確かめ合う偵察行動ないしは睨み合いである。

5 シリア民主軍の英語名 Syria Democratic Forces の略。彼ら自身はアラビア語名 Quwwät Süriyā al-Dīmuqrāīya の略 QSD をよく用いる。またクルド語では Hêzên(戦士たち、すなわち軍の意) Sûriya Demokratîk を略して HSD と呼ばれる。

アメリカ上院議員マルコ・ルビオは、[クルド人勢力のトルコに対するゲリラ活動とアサド政権との協力の可能性について懸念を表明](#)した[27日、情況]。

トルコ軍のアフリン侵略

☐オリーブの木を焼き払うトルコ

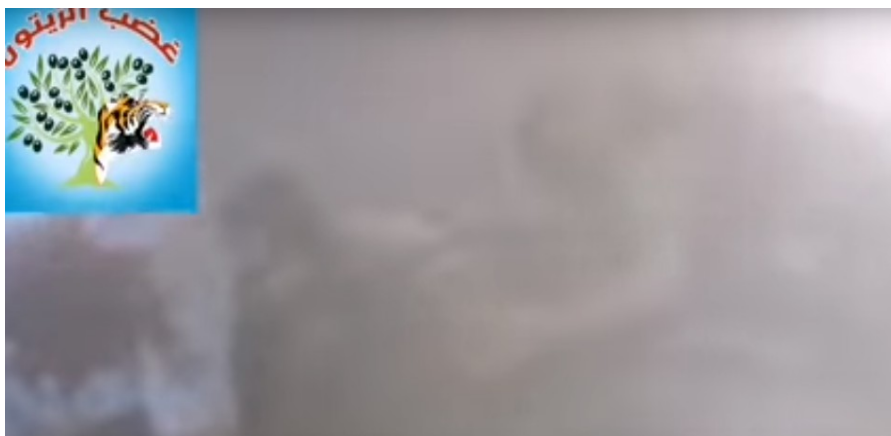
アフリンを占領するトルコ軍は、[クルド人農家のオリーブ畑に火を放っている](#)ことがクルド系メディアで報じられた[13日、日報]。ゲリラ掃討のため隠れ家となるオリーブ畑に火をかけたとみられる。クルド人住民への威嚇と経済基盤の破壊が目的である。トルコの目的は、クルド住民をアフリンから一層しそこにアラブ人のシリア難民を入植し併合することである。

22日、トルコとの国境に近い[ジンダレスでトルコ軍傘下の戦闘員一名の殺害を実名を出して発表](#)した[22日、ハワルニュース]。クルド側は、反体制派勢力に与するシリア・クルディスタン民族会議(ENKS)が、トルコの侵略に協力していると批判している。

☐オリーブ怒り作戦室

「オリーブ枝作戦室」を名乗るクルド人武装集団が、[イドリブでトルコ軍傘下の反体制派勢力「シャーム軍団」を襲撃し2人を殺害したと発表](#)しその様子を[動画](#)として公開した[1日、ユーフラテスニュース]。

トルコのアフリン侵攻作戦名「オリーブの枝」に抵抗の意志を示していることは明らかだ。



同作戦室は、9日に[イドリブ南部でシャーム軍団を襲撃し5人の「テロリスト」を殺害したと発表](#)した[12日、ユーフラテスニュース]。トルコがアフリン侵攻を開始する直前 YPG は盛んにイドリブ解放作戦の開始をアナウンスしていた。それを危惧したエルドアンがアフリン侵攻を急いだのである。

アサド政権もイドリブへの進軍を狙っている。反政府運動が最初に始まり「革命のゆりかご」とも言われた反体制派勢力の一大拠点ダルアーがアサド政権による解放が近い今、残る反体制派勢力の拠点はイドリブだけなのである。イドリブさえ解放すればシリア内戦は政治的解決をする必要なく終わる。ここ

でアサド政権とクルド人勢力の共同作戦の余地が生まれてくる。アサド政権寄りメディアによると、[シリア・アラブ軍高官はイドリブ解放について「可能」だと発言](#)したという[12日、アラブソース]。イドリブは現在、[ヌスラ戦線のテロリスト9人が一度に暗殺](#)されるような、テロリスト同士の暗殺合戦が続いている[9日、シリア人権監視団]。反体制派勢力の足並みが揃わない今は作戦開始の好機なのである。

アサドとPYDの協力は反体制派勢力並びにその背後にいるトルコが最も恐れる状況である。そのためSDFは、[タブカダムをアサド政権に引き渡したという疑惑について否定](#)した[22日、クルディスタン24]。水力発電装置のタービンを修理するための政権に近いユーフラテスダム会社に接触しただけと釈明した。反体制派メディアは、タブカダム問題に言及しないものの[タブカにおける反アサドデモ](#)について報じた[21日、オリエントニュース]。ロイターは、タブカダム返還疑惑の背後にある[トルコの侵略行為に断固とした態度を取らないアメリカに対するクルド側の不信感](#)について報じた[26日、ロイター]。

25日、クルド側は[ダマスカスへ代表団を派遣](#)しアサド政権と交渉の準備を行った[27日、ロイター]。28日、民主社会運動(TEV-DEM⁶) 渉外対応サリフ・ムスリムは、[現時点でアサド政権との単独交渉は行っていないと発表](#)した[28日、ユーフラテスニュース]。当協会がPYD幹部へ確認したところによると、今後正式な交渉が始まれば、SDFについてアサド政権寄りの民兵隊「祖国防衛隊」のような準軍事組織としての法的地位を得ることを目指すという。またアサド政権がイドリブ解放作戦を開始すれば、共同作戦を行う可能性も示唆した。

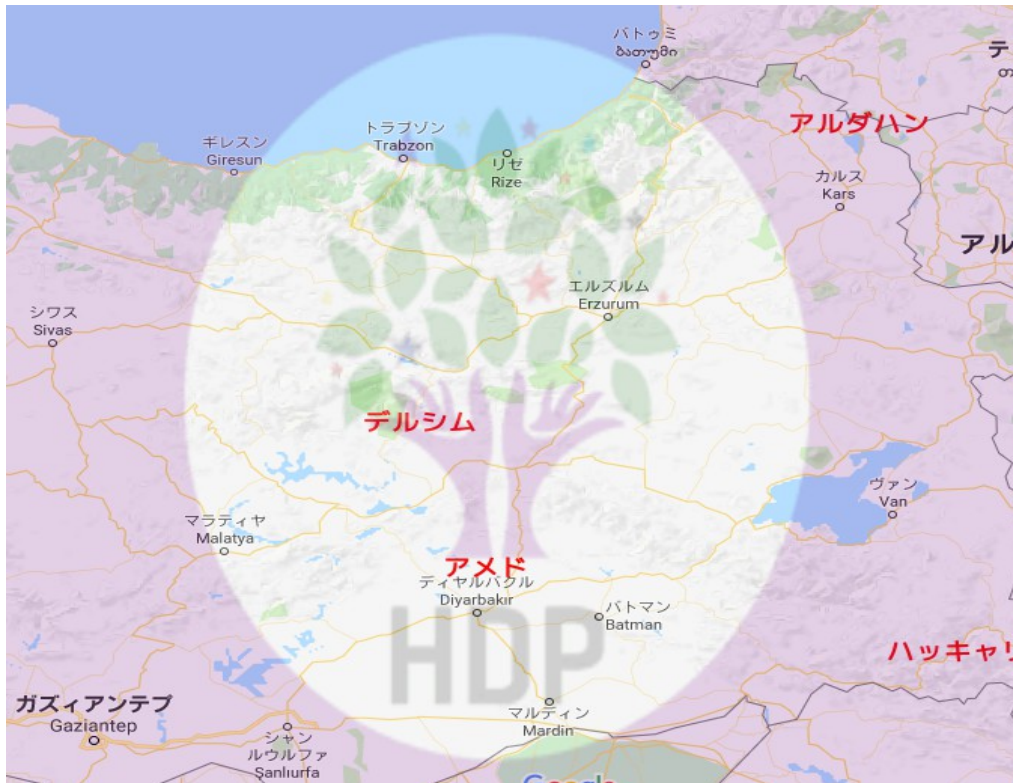
ロヘルシンキサミット

16日、プーチン、トランプの首脳会談がヘルシンキで非公開の中行われた。コーツ米国家情報長官が、会談で「[何が起きたか知らない](#)」と発言したように、具体的にどのような口約束が交わされたのか第三者には知る由もない[20日、ロイター]。アメリカ中央軍司令官ジョセフ・ボテルは、プーチンとの会談によって[シリアを巡る状況に変わりはない](#)と発言した[18日、ロイター]。

6 TEVGERA(運動) CIVAKA(社会) DEMOKRATİK(民主主義)の略。PYDの指導下に結成されたシリア・クルディスタン民主党他諸党が参加する政治連合体。

北クルディスタン(トルコ領南東部)

Bakurê Kurdistanê



新政権

□身内に国庫の鍵を握らせるエルドアン

9日エルドアンは、[新政権の顔ぶれを発表](#)した[9日、「自由」紙]。エルドアン本人よりも親族の影響が増したという言説が盛んに表出した。というのは[エルドアンの義理の息子ベラト・アルバイラクが財務相に指名](#)されたからである[9日、ロイター]。エルドアン一家は以前から同族会社への利益供与について批判されている。エルドアンの長男は、[マネーロンダリング疑惑でイタリア当局の追及を受けた](#)ことがある[2016年8月3日、ロイター]。今後アルバイラクが金にまつわる差配をしていこうというので、彼の一举一動に多くの有力者が注目している。

エルドアンの再選は一種の無血クーデターの観を呈しており、ケマリズムの旧トルコからイスラム主義の新生トルコの始まりの雰囲気がある。22日、アンカラの新生トルコ建国の父ムスタファ・ケマル廟の前でケマルを侮辱する様子を収めた動画を投稿した女子学生が逮捕された[22日、「自由」紙]。彼女は動画の中でケマルを「救国の英雄ではない」と発言していた。チャドルを被っておりイスラム主義へのシンパシーが、このような発言の背後にあると見られている。

□クーデター鎮圧2周年

15日、軍によるクーデター鎮圧を記念する「民主主義と国民団結の日」として祝われた[15日、「自由」紙]。

エルドアンは、反乱が開始された時間に合わせてボスポラス海峡の橋を行進するというパフォーマンスを行った[15日、「新たな夜明け」紙]。



家族や支持者と行進するエルドアン 出典:「新たな夜明け」紙

クーデター騒動から2年続いた非常事態宣言が正式に解除されることとなった[18日、BBC]。25日、トルコ内務省は、パスポートを停止されていた15万人以上に再発給をすると発表した[25日、「自由」紙]。トルコ人ジャーナリストは、エルダンの新体制はトルコが築き上げてきた統治機構に止めをさし、もはや統治不全に陥ると警鐘を鳴らした[16日、情況]。

□ブランソン牧師問題

アメリカ人宣教師ブランソン牧師の投獄がアメリカとの新たな火種となっている。ブランソン牧師は、エルドアンが2年前のクーデター騒動の首謀者と見なすギュレン派に与したとの容疑をかけられている。トランプは、トルコがブランソン牧師を解放しない場合制裁に乗り出すと発言した[26日、ロイター]。エルドアンは、アメリカの制裁についてトルコに対する心理戦だと発言した[29日、「自由」紙]。トランプによる「制裁」は、トルコをアメリカの敵国へと大きく近づけることになる。

クルド人への弾圧

PKKの動向

PKKは、6月28日から30日の作戦で13人のトルコ兵を殺害したと発表した[1日、日報]。一方デルシムでPKKゲリラ5人死亡した[1日、24時]。9日、トルコ内務省は、今月初初の1週間で40人のPKK戦闘員を「無力化」したと発表した[9日、「自由」紙]。

トルコ大国民議会において、地方知事に対テロ活動のための権限を与える法案が可決された[25日、ルダウ]。政権与党公正発展党(AKP)は、クルド系人民民主党(HDP⁷)議員アフメット・シュクの発言を議会に対する侮辱だとして、和解金10万トルコリラを要求した[27日、「自由」紙]。シュク議員は、対テロ法案に関する質疑の最中にAKP議員の態度を「不道徳」だと非難した。AKPはこれを質疑と関係ない侮辱だと告発したのである。

クルド人ゲリラ部隊市民防衛隊(YPS)は、戦闘員2人が死亡したと発表した[28日、ユーフラテスニュース]。YPSは2015年に結成されたPKKの新たな軍事部門である。同年後半から翌年前半にかけてのトルコ領クルディスタン各地での戦闘は彼らによってなされた。YPSはそれ以来大規模な行動を起こしておらず、PKK絡みのニュースでもその名を目にするのは少ない。トルコ国内の流動化を好機とまた大規模な蜂起を計画しているのか続報が待たれるところだ。

オジルの矛盾

22日、サッカードイツ代表チーム主将のメスト・オジルは、「人種差別」を理由に代表チームからの脱退を表明した[23日、ロイター]。オジルに関する論争は、トルコ系移民の間にドイツ人からの差別待遇を告発する「#metoo」運動を起こしたとされる[28日、ロイター]。事の発端は、オジルがエルドアンとのツーショットを写真を投稿したことを、ドイツサッカー連盟にエルドアンの独裁を称賛する行為だと咎められたことにある。

オジルと同じくドイツでプレーするサッカー選手デニス・ナキは、オジルに同情するトルコ世論の二面性について批判した[26日、クルディスタン24]。彼は、クルド問題に関する発言によりトルコサッカー連盟から選手資格をはく奪された過去をもつ。

彼の主張はエルドアンとのツーショットを批判されたことへの言いがかりに近い。もし彼の主張する「人種差別」や「トルコ系への軽蔑」があるとすれば、そもそも代表チームの主将を任せられることなどあるはずがない。彼はエルドアンとのツーショットをSNSに投稿したことも公人にあるまじき無神経なら、その後の対応も終始子供じみていた。彼の代表脱退に対するトルコ人の反応は、ある種のトルコ人の思

7 トルコ語の党名、Halkların(諸人民または国民の) Demokratik(民主主義) Partisi(党)の略。Halkはアラビア語で人民を意味するhalqに由来する。

者パターンを理解するために観察する価値がある。AKP 支持派のトルコ人は、ドイツによるエルドアンに対する批判をドイツ人によるトルコ人への差別だと主張する。国内では少数民族を差別を正当化しながら、欧米の正当な批判を人種差別、イスラム恐怖症の名において退けようとする二重思考をこのクルド系選手は暴いた形になった。

☐羊飼いの悲劇

HDP 議員は、ジョージアとの国境に近いトルコ領北東部アルダハンの村落で羊飼いがトルコ警察特殊部隊に銃撃され殺害されたと発表した[1 日、ユーフラテスニュース]。同伴者の証言によれば、殺害された羊飼いはかなり至近距離から銃撃されており、彼らの言う「テロリスト」でないことは目視で確認できたはずである。トルコ当局の傭兵であるクルド人治安部隊「村落防衛隊」も参加していたとされる。村落防衛隊は建前は志願制だが、実態は地域の部族長に金品を渡し配下の部族兵を差し出しているのである。「テロリスト」を多く殺すほど報奨金は増える。彼らが対立する部族や村落の住民をトルコ当局にテロリストだと嘘の情報提供をし今回のような悲劇が起きたことも考えられる。

また最東部ハッキヤリのクルド人住民らは、トルコ軍の車両によって羊 20 頭が轢き殺されたと訴えた[27 日、ユーフラテスニュース]。



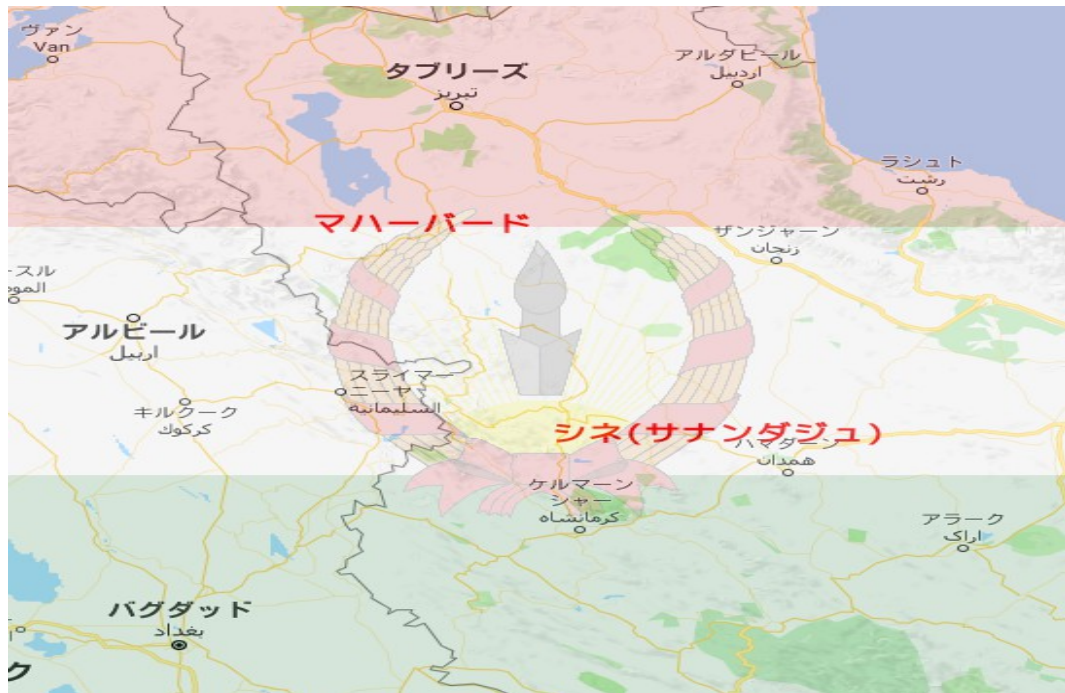
羊の亡骸は村民の手で片付けられ、何も無かったかのようにされたという。トルコ人はよく PKK と一般のクルド人を区別してクルド人弾圧をぼかす論法を用いるが、実態はこの通りトルコ当局は PKK と関係ない住民も殺害しており、クルド人全体を敵視しているのである。

☐パレスチナへのアピール

自国の少数民族を迫害する一方で、パレスチナへの同情アピールは欠かさない。イスラエルに拘束されていた女性活動家アヘド・タミミが釈放されると、彼女にすかさず祝福の電話をした[29 日、「自由紙」]。

東クルディスタン(イラン領西部)

Rojhilatê Kurdistanê



イランは現在深刻な水不足が進行中であり、またアメリカのトランプ政権が核合意破棄を宣言したことによりイラン・リヤルが急落し輸入品が高騰することで市民生活を圧迫している。イスラム体制の動揺に乗じてクルド人反体制派勢力諸派は動きを活発にしている。

5日、イラン・クルディスタン民主党は、SNSに東クルディスタン全域にペシュメルガを配置したと投稿した[5日、@PDKIenglish]。イラン軍はこれに応じる形でイラク領内のクルディスタン地域との国境地帯を砲撃した[13日、バスニュース]。砲弾はイラク領内クルディスタン地域内に着弾し、住民は騒然となった。彼らと良好な関係を持つバルザニへの威嚇射撃であった。

PKK系列組織もまたイラン領内でゲリラ活動を活発にしている。21日、クルディスタン自由生命党(PJAK)は、イスラム革命防衛隊員10人を殺害したと発表した[21日、イスラム共和国通信]。

バルザニとPKKの敵対関係が、東クルディスタンのイスラム体制への抵抗運動に亀裂をもたらさないか、また近い将来予測されるイスラム体制の崩壊に際して統一行動が取れるかが注視される。

文責：日本クルド友好協会研究員 並木宜史